

昭和52年度 和歌山県名匠

【宮大工】

辻本喜次

【現住所】高野町

【生年】大正2年

職歴

昭和7年高野山金剛峯寺の建築に従事して以来40有余年、寺院建築の設計、施工に取り組んできた。

業績の概要

昭和7年和歌山工業学校卒業後すぐ、高野山金堂、大塔建設の主任技師大浦徳太郎氏に指導を受けた。

以来40有余年、寺院建築一筋に励まれ現在は、高野山孔雀堂の再建に取り組まれている。

氏のがけられた寺院は、他府県にも及び福岡県正行寺の納骨堂、鼓楼、経蔵、山門をはじめ、奈良県弁天宗の本堂、礼堂、宗祖殿、香川県屋島寺の開山堂、大阪府の大鳴山本堂などがあり、本県では、高野山の英霊殿、奥の院御供所、専修学院灌頂堂、金剛峯寺阿字観堂のほか龍神村（現：田辺市）大應寺の本堂、印南町永福寺など各宗派の寺院を再建されている。

また、国の文化財である金剛峯寺の不動堂、徳川家霊台の修復をされるなど、文化財保護に貢献された功績は極めて大きいものがある。